

1 事業概要

事務事業名		公民館改修事業		課名	公民館	事業No.	320
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称		
		戦略計画					
		分野別計画			飯田市教育振興基本計画		
		法令・例規等			社会教育法 飯田市公民館条例 建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令		
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者				
		意図	施設の適正な維持管理により、安全安心で快適な学習環境を提供して社会教育の振興に努める				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	今年度実施した主な改修工事は、以下のとおりです。 ・伊賀良公民館便所改修工事 ・飯田市公民館屋上防水工事 ・竜丘公民館エレベーター機能維持工事 他		耐震診断業務委託料				626	
			施設改修工事費				15,698	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	改修実施件数	件	5	5	6			
30年度 決算 (千円)	予算額	31,036	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	16,324	30→1 繰越明許費 14,519千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
	一般財源	16,324						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	12	2	31,036	16,324	公民館改修事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・施設改修については、計画的に行うもの、緊急を要し補正予算で対応するものに分類して対応しました。 ・耐震整備事業の対象にならなかった公民館の老朽化が進んでいますが、大規模な改修となるため、計画的な実施が必要です。 ・文化会館を中心に教育文化センター、鼎文化センターのホールの方向性について検討を進める必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・大規模な改修については、施設の状態を把握しながら、優先順位を定めて計画的に行います。 ・ホールの方向性については、飯田文化会館のホールを含め3ホールで検討を行います。							
次年度に向けての取り組み		・各施設の現状調査及び評価を行い、調査結果に基づく施設の長寿命化の検討を行います。 ・3ホール施設に関する公共施設マネジメント方針案について、検討を進めます。							